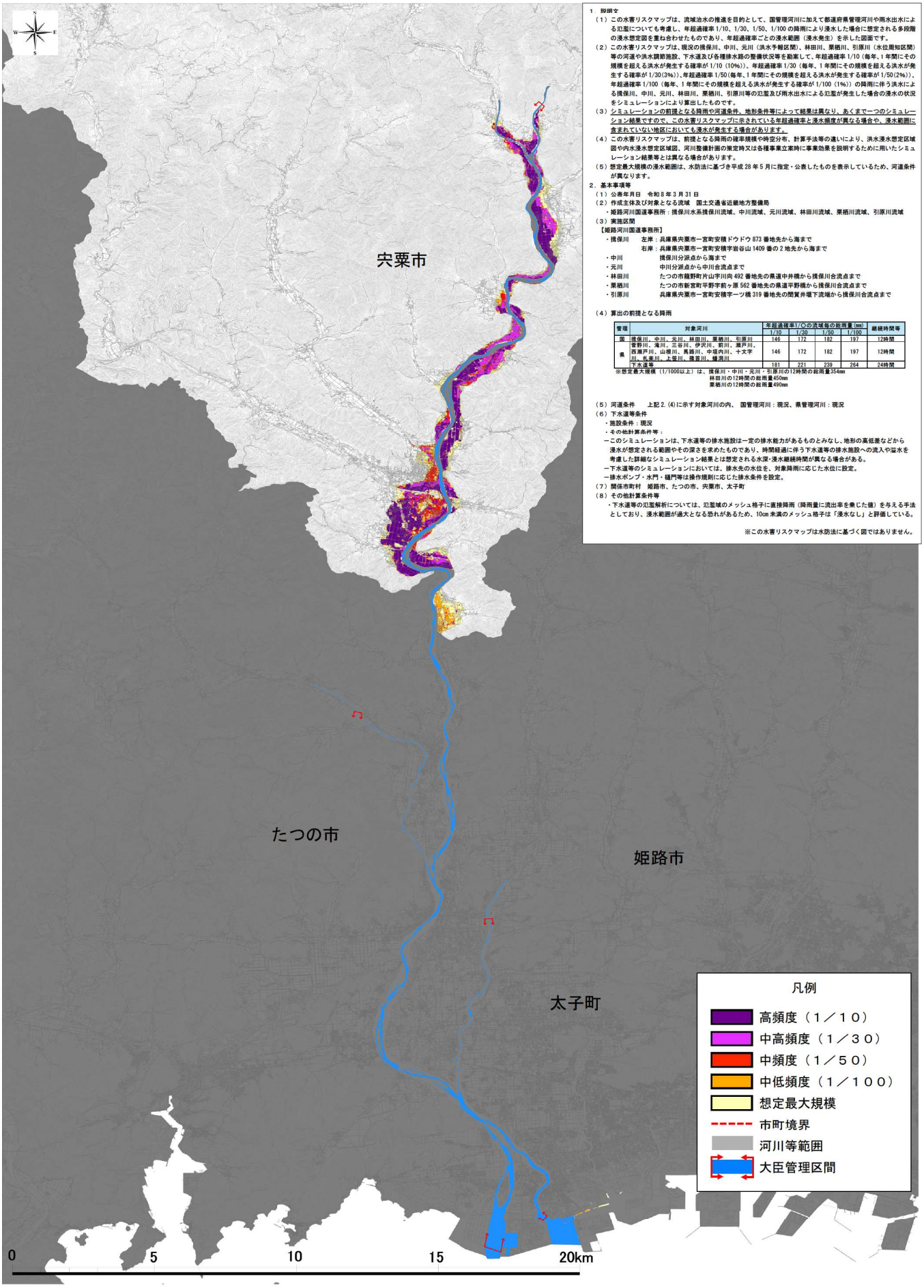
揖保川水系　内外水統合の水害リスクマップ
【現況河道】

浸水が想定される範囲を表示



1．設定文

（1）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率 1/10, 1/30, 1/50, 1/100 の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（2）この水害リスクマップは、現況の揖保川、中川、元川（洪水予報区間）、林田川、栗栖川、引原川（水位周知区間）等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率 1/10（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/10（10%））、年超過確率 1/30（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/30(3%)）、年超過確率 1/50(毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/50(2%))、年超過確率 1/100（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/100（1%））の降雨に伴う洪水による揖保川、中川、元川、林田川、栗栖川、引原川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。

（4）この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時空分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

（5）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成 28 年 5 月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（1）公表年月日　令和 8 年 3 月 31 日

（2）作成主体及び対象となる流域　国土交通省近畿地方整備局

・姫路河川国道事務所：揖保川水系揖保川流域、中川流域、元川流域、林田川流域、栗栖川流域、引原川流域

（3）実施区間

【姫路河川国道事務所】

・揖保川　左岸：兵庫県宍粟市一宮町安積ドウドウ 873 番地先から海まで
　右岸：兵庫県宍粟市一宮町安積字岩谷山 1409 番の 2 地先から海まで

・中川　揖保川分派点から海まで

・元川　中川分派点から中川合流点まで

・林田川　たつの市龍野町片山字川向 492 番地先の県道中井橋から揖保川合流点まで

・栗栖川　たつの市新宮町平野字前ヶ原 562 番地先の県道平野橋から揖保川合流点まで

・引原川　兵庫県宍粟市一宮町安積字一ツ橋 319 番地先の閏賀井堰下流端から揖保川合流点まで

（4）算出の前提となる降雨

管理	対象河川	年超過確率1/Cの流域毎の総雨量(mm)				継続時間等
		1/10	1/30	1/50	1/100	
国	揖保川、中川、元川、林田川、栗栖川、引原川	146	172	182	197	12時間
県	菅野川、滝川、三谷川、伊沢川、萩川、瀬戸川、西瀬戸川、山根川、馬路川、中垣内川、十文字川、丸亀川、上笹川、幾重川、横洞川	146	172	182	197	12時間
	下水道等	181	221	239	264	24時間

※想定最大規模（1/1000以上）は、揖保川・中川・元川・引原川の12時間の総雨量354mm
林田川の12時間の総雨量450mm
栗栖川の12時間の総雨量490mm

（5）河道条件　上記 2.(4)に示す対象河川の内、 国管理河川：現況、県管理河川：現況

（6）下水道等条件

・施設条件：現況

・その他計算条件等：

ーこのシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。

ー下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。

ー排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。

（7）関係市町村　姫路市、たつの市、宍粟市、太子町

（8）その他計算条件等

・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となる恐れがあるため、10cm 未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 1136